

校長室より

令和5年2月10日(金)

「ありがとう」



先月24日から日本全国が強烈な寒波におおわれ、春江では最高気温が氷点下という日を記録しました。この寒波によって福井県をはじめ、全国各地で鉄道・道路などの交通網や水道などのライフラインが被害を受け、私たちの生活に大きく影響しました。

さて、話は長畝小学校に戻します。

寒波におおわれる前日に、先生方には「明日は遅刻してもかまわないので、出勤した人から児童玄関や付近の通学路の除雪協力をお願いします。」と伝えたところ、当日はかなり早い時間から何人もの先生が除雪作業をしていていました。

すぐに私も作業に参加し、「〇〇先生、ありがとう。」と言うと、その先生も「ありがとうございます。」と返してくれました。その後、除雪に参加する職員の数が増えていくのですが、先生方はお互いに「ありがとうございます。」と言って作業に入っていくのです。あっという間に児童玄関周辺はきれいに整備されました。

7時30分くらいから子どもたちがポツポツと登校し始めます。除雪作業中であっても、先生と子どもたちの間には「おはようございます!」の聲が飛び交っています。そして、私たちが驚いたのは、何人もの子どもたちが「先生、雪かきしてくれてありがとうございます。」と言ってくれたことです。この魔法の言葉で、私たちは疲れが吹き飛び張り切ってしまうのです。こちらこそ、元気をもらいました。ありがとう!

おそらく、声をかけてくれた子どもたちは雪かきの大変さを身をもって知っているのだと思います。自分が大変な思いをしたからこそ、感謝の気持ちを持って温かく優しい言葉が自然と出るんでしょうね。

これからも「ありがとうございます。」と声をかける方にも声をかけられる方にもなりたいですね。